

申1号「大会発言に基づく」専門協開催！

本部は、9月13日14日申第1号に対する専門協を開催した。

◎ 申第1号要求内容について

1・各職場に応じた十分な要員を配置されたい

会社)業務に必要な要員は配置している。運転職場で平均で12日年休は付与されているが、厳しい職場もあり、新規や転勤等で補充していく。

組合)現場の不满をしっかりと確認し十分な対応を。

2・雑草・倒木など十分な安全点検 と対応を実施されたい

会社)今後とも必要により伐採等 をおこなっていく。

組合)年々、雑草などひどくなっている。基地統廃合の影響もあるのではないかと、しっかりと対応してもらいたい。

3・日田彦山線添田駅はBRT乗り継ぎ駅のためICカード対応とされたい

会社)現行どおりとしたい。

組合)お客さまへ利便性と乗務員への負担軽減のために必要だ。

4・笹原駅下りホーム多客のためITVを設置されたい

会社)現行どおりとしたい。

組合)ドア挟み防止などのため必要だ。

5・両数間違い防止のために停止位置目標の統一。2両編成の自車扱いを全車扱いとされたい

会社)現行どおりとしたい。今後停止位置目標の統一、全車扱いについてお客さまの状況をみて検討していく。

組合)停止位置目標の統一については最大の事故防止であり、自車扱いについてはしっかりと現場の状況を見て検討すべき。

6・ワンマン運転自動放送故障時の取扱いを明らかにされたい

会社)異常時マニュアル等に基づき取り扱う。ワンマン運転の条件は旅客への案内が出来る設備。EBとTBは絶対条件。

組合)マニュアルについて、車交も係員配置もほぼない。

7・香椎線自動運転区間、警戒信号機65キロ制限を安全対策のため25キロとされたい

会社)現行どおりとしたい。滑走についても対策の設備を設置している。

組合)安全上、速度を落とすことが必ず必要。

NO2へ続く